

シートベルトプリテンショナーの 取り忘れが発生しています!

未作動のエアバッグ類はすべて処理が必要です!!

- シートベルトプリテンショナーはガス発生器を使用しており、その処理（取外回収・車上作動処理）を怠ることは**自動車リサイクル法違反**になります!!

☞ 解体業者は、特段の作業を行わずそのまま他の解体業者に引き渡す場合を除き、再資源化基準に従った解体とすべての未作動のエアバッグ類を取外回収（または車上作動処理）する責任があります。

この作業を怠った場合は自動車リサイクル法の行為義務違反となり、リサイクル料金もお支払いできない場合がありますのでご注意ください。

- 使用済自動車を引き取る時は、リトラクター部のタグ等**実車の表示**や電子マニフェストシステムの**「車台詳細情報」**を参考に必ず装備を確認し、適切な処理を行ってください!!

☞ エアバッグ類が装備された部位は、添付の資料で説明の通り**表示等で確認**することができます。

ただし、一部の車種には運転席・助手席等には装備がなく、シートベルトプリテンショナーのみ装備された車台もありますので、電子マニフェストシステムで閲覧できる**「車台詳細情報」**等を参考に必ず実車で装備を確認し、未作動のエアバッグ類が装備されている場合は取外回収（または車上作動処理）を行ってください。

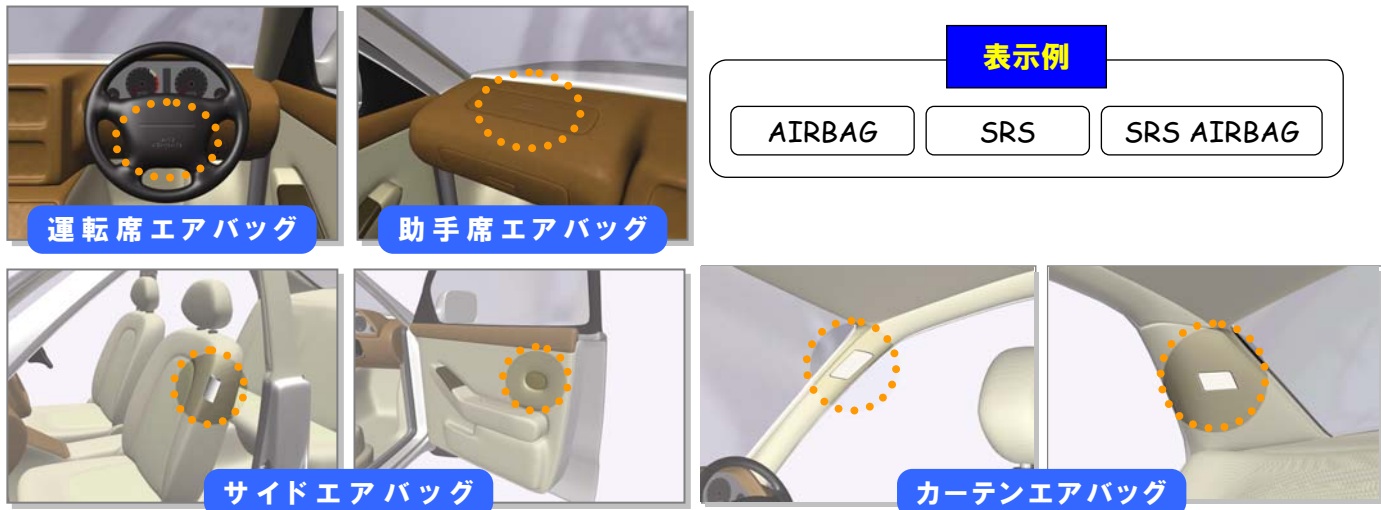
なお、機械式シートベルトプリテンショナーを取外回収する場合は、必ず**安全装置を働かせる**ようご注意ください。

※ 安全装置が講じられていないエアバッグ類は、引取基準に適合していないことから引取りを拒否させていただく場合がありますのでご注意ください。

実車での装備と作動状況の確認方法 (代表例)

1. エアバッグ(運転席・助手席。サイド・カーテン等)装備の確認方法

- ・エアバッグを装備している部位には、装備を示す「ラベル」または「印刷」等が表示されています。



2. エアバッグ(運転席・助手席。サイド・カーテン等)の作動状況の確認方法

- ・エアバッグが未作動か作動済みかは、自動車メーカー等が提供する「[各社情報](#)」に則って以下の例示の状態により確認してください。

作動状態

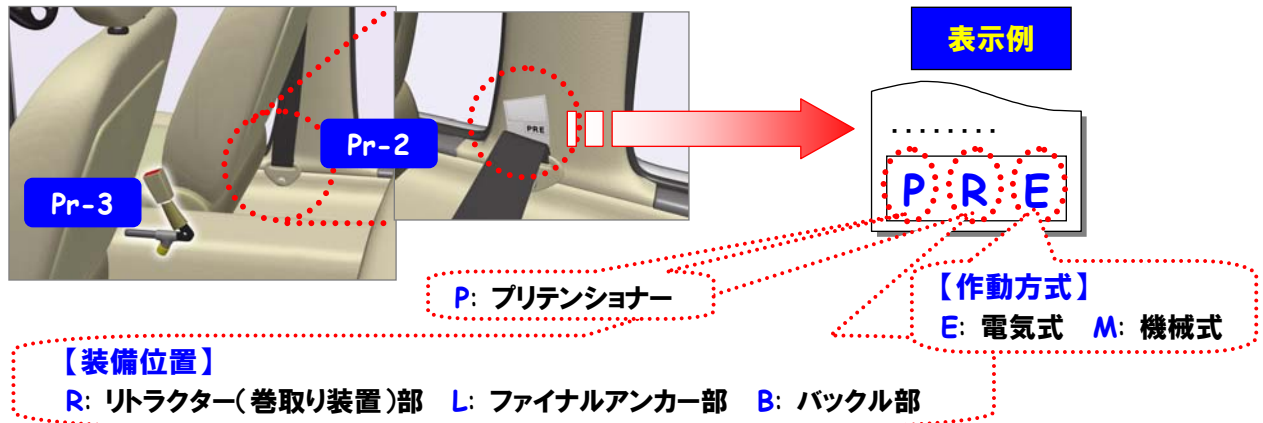


判断基準

- ・いずれのエアバッグも、バッグが展開して（開いて）いること。
- ・助手席エアバッグは 2 個のインフレーター（ガス発生器）を装備している車種もあることから、電子マニフェストシステムの「[車台詳細情報](#)」で必ず装備個数を確認してください。

シートベルトプリテンショナー装備の確認方法

- ・シートベルトプリテンショナーを装備している車台には、シートベルトを車台に固定しているファイナルアンカー部のタグに、装備位置・作動方式が表示されています。
(一部車種には表示がないものもあるので、電子マニフェストシステムの「**車台詳細情報**」画面、および自動車メーカー等が提供する「**各社情報**」で確認してください)
- ・シートベルトプリテンショナーのみ装備されている可能性がある車両については、自動車再資源化協力機構ホームページ (<http://www.jarp.org/>) の「各種マニュアル・書式集」に掲載の「**シートベルトプリテンショナーのみ 装備車両一覧**」でもご確認いただけます。
ただし、**必ず実車でも装備の有無を確認**してください。



3. シートベルトプリテンショナーの作動状況の確認方法

- ・シートベルトプリテンショナーが未作動か作動済みかは、自動車メーカー等が提供する「**各社情報**」に則って以下の例示の状態により確認してください。

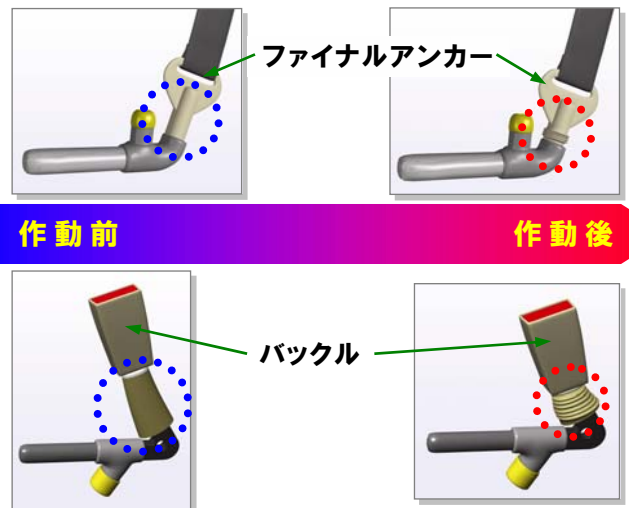
作動状態

リトラクター(巻取装置)部

シートベルトが引き出せない状態。



ファイナルアンカー部・バックル部



判断基準

- ・リトラクター部の場合、シートベルトが張りつめて、それ以上引き出せない状態であること。
- ・ファイナルアンカー部・バックル部の場合、アンカーやバックルが著しく引き込まれていること。

「車台詳細情報」を利用した確認方法

- 電子マニフェストシステムの「車台詳細情報」には、該当する車台の移動報告番号や自動車メーカー等の情報のほか、エアバッグ類（インフレーター等）の装備個数や特徴的な情報等が表示されます。「車台詳細情報」は、引取報告を行う時に車台番号に並んで表示されている「詳細」ボタンをクリックすると表示されます。

車台詳細情報 (JPRS0300)

前画面に戻る 画面イメージ ログアウト 画面印刷 ヘルプ

1. 車台情報

◆車台基本情報		◆メーカー等提供のエアバッグ類装備情報 (「※」はオプション装着の可能性がありますので、現車をご確認ください)			
車台番号	12345678901234567890	運転席		1	
型式	1234567890	助手席		1	
車名	NNNNNNNNNN	サイド		※	
移動報告番号	123456789012345	カーテン		0	
義務者メーカー名	NNNNNNNNNN	プリテン		2	
型式指定番号	8530	◆エアバッグ類 詳細情報			
類別区分番号	089B	一括作動システムへの対応	一括作動システム対応車両です		
◆リサイクル料金預託の有無		機械式の部位	シートベルトプリテンショナーのみ機械式を装備しています		
フロン類預託	有	その他 1	サイドエアバッグはオプション装備のため装備を確認して下さい		
エアバッグ類預託	有	その他 2			
◆車台装備情報		◆車台実車装備情報		◆エアバッグ類 適正処理情報	
フロン類車種クラス	乗用車等	フロン類装備	有		参照
脱フロンエアコン	無	フロン類種別	CFC		
架装物区分	01:架装物はリサイクル料金に含まれる	エアバッグ類装備	有		

㉑ 「メーカー等提供のエアバッグ類装備情報」

自動車メーカー等からの出荷時におけるエアバッグ、シートベルトプリテンショナーの装備個数を表示します。

例: 上記表示画面は、運転席・助手席にインフレーターが各 1 個ずつ、シートベルトプリテンショナーが 2 個装備されている例です。さらに、サイドエアバッグが装備されている可能性があることから、サイドエアバッグについては実車で装備の有無を確認する必要があります。

㉒ 「エアバッグ類詳細情報」

「一括作動」が可能か、また、車上作動処理が困難な「機械式」エアバッグが装備されているか等の特徴的な情報を表示します。

㉓ 「エアバッグ類適正処理情報」

「参照」ボタンをクリックすると、自動車メーカー等が提供する「エアバッグ類適正処理情報」を参照することができます。

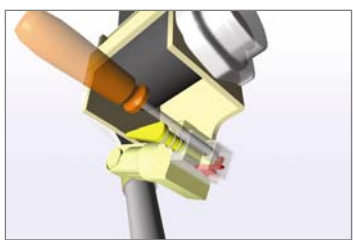


この画面を印刷し引き取った車台に付けておくと現場で確認できるので、見落とすことなく処理できます。

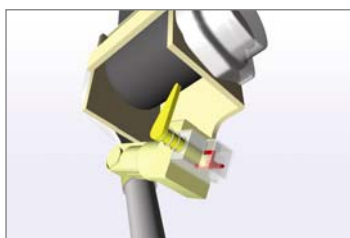
機械式シートベルトプリテンショナーの安全装置 (代表例)

- ・ 機械式シートベルトプリテンショナーには安全装置が付いています。安全装置をはたらかせずに作業を行うことは大変危険です。
- ・ 機械式シートベルトプリテンショナーの安全装置の働かせ方は種類によって異なります。作業を行う前には「エアバッグ類適正処理情報」を参照して、適切な方法で取外回収を行ってください。

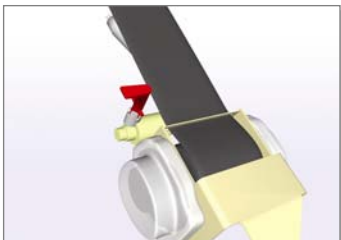
PRM-1



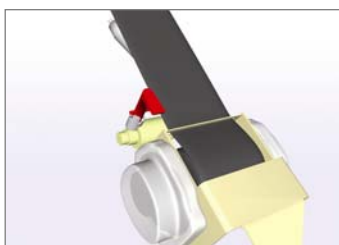
1. 薄刃マイナスドライバーでセーフティレバーをフリーにする。
2. 引上げた状態でロック方向に回転させる。



PRM-2



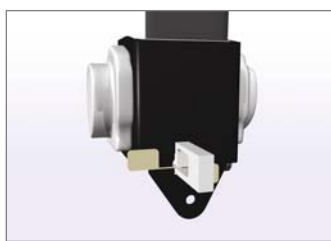
- a. セーフティレバーを引き上げる。
- b. 引き上げた状態でロック方向に回転させる。



PRM-3

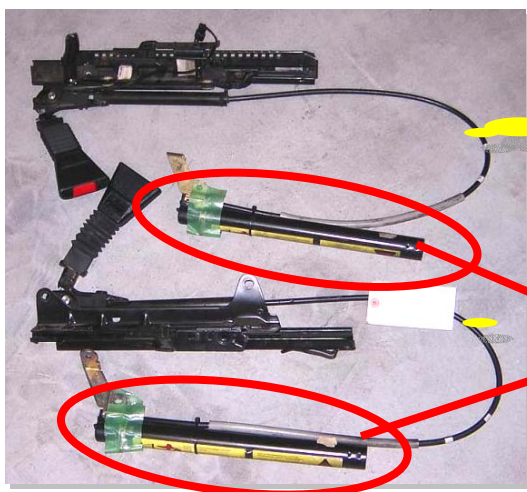


- a. セーフティレバーを起こす。
- b. セーフティレバーを押し込みながら、
- c. ロック方向に回転させる。



回収不要な機械式シートベルトプリテンショナー (代表例)

一部の輸入車には、ガス発生器を使用していないシートベルトプリテンショナーが装備されています。下記の確認ポイントを参考に確認し、これらのシートベルトプリテンショナーが装備されている場合は取外回収を行う必要がないので、**車台に装備されたままの状態**で車台とともに破砕工程に引き渡してください。



確認ポイント1
シリンダーとバックル部を結ぶ
太いケーブルがあります



確認ポイント2
シリンダー部には安全装置の赤いプレートがあります。
解体作業でシリンダーを扱う場合には、赤い安全ロックの
プレートをシリンダーの溝に差し込みます。

※ 回収の必要がないシートベルトプリテンショナーが装備され手いる可能性がある車両については、自動車再資源化協力機構ホームページ (<http://www.jarp.org/>) の「各種マニュアル・書式集」に掲載の

「回収不要シートベルトプリテンショナー 装備車両一覧」

でもご確認いただけます。

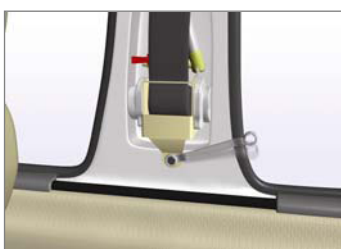
ただし、**必ず実車でもシートベルトプリテンショナーのタイプを確認**してください。

機械式シートベルトプリテンショナー(リトラクター部)の個別作動 (参考)

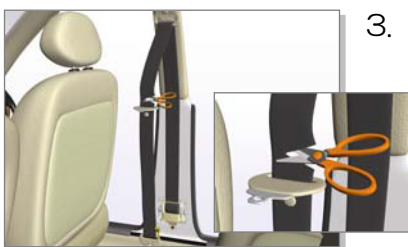
- ・ 機械式シートベルトプリテンショナーは、直接衝撃を与えることで車上作動処理することができます(車上作動処理を実施する場合は、自動車メーカー等との委託契約が必要です)。



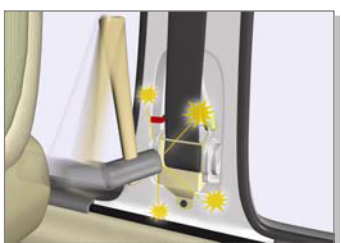
1. センターピラーの内装カバーを外し、シートベルトプリテンショナーを露出させる。



2. シートベルトプリテンショナーが車台から浮き上がる程度まで、車台に固定しているナットをレンチ等でゆるめる。



3. 作動時にシートベルトが動かぬよう、タングの上部で切断するかバックルに差し込み固定する。



4. ハンマー等でリトラクター部をたたき作動させる。

Ⓢ 車上作動処理を実施する時は、保護メガネ、マスク、耳栓を着用してください。

Ⓢ 一部の輸入車に装備されている機械式シートベルトプリテンショナーについては、構造上、車上作動処理ができません。必ず取外回収を行ってください。
詳細は「[各社情報](#)」を参照してください。

Ⓢ 一部の輸入車に装備されている機械式サイドエアバッグについては車上作動処理ができます。
詳細は「[各社情報](#)」を参照してください。